

町制施行85周年！

これからの町に思うことは？

ま ちかど インタビュー



石田 祥子さん
(地域おこし協力隊)

昭和15年4月1日に町制が施行され「広野町」が誕生してから今年で85周年を迎えます。人口減少や少子高齢化など町を取り巻く環境が変わりゆく中で、広野町の未来に思うことをお聞きました。

私は、広島県の大学を卒業してすぐに、この4月から地域おこし協力隊として移住してきました。

在学中からインターンやイベントなどで広野町に通ううち、町民の方々が温かく接してくださったことで、とても魅力的な町だと感じました。

これから地域おこし協力隊の活動を通して、移住を希望される方と地域住民の皆さんの橋渡し役になって、人が温かく、より楽しい広野町を目指す力になりたいと思います。



山岸 怜子さん
(上浅見川)

広野町になって85年が過ぎたことを考えると自分でも驚くほど長く生きてきたと感じます。

昔を思い返すと、お店をやりながらの子育てがとても大変で、親が近くにいるからこそやってこられたと思います。

住んでいる人が減って、若い人たちが昔以上に子育てに苦労しないか心配です。

町がそつした人にとって快適な環境であってほしいと思います。

編集後記

3月議会では、新年度予算の審議が中心となり、地域活性化や福祉施策、防災対策など多岐にわたる議案が議論されました。

特に子育て支援や高齢者福祉の充実、公共施設の改修計画に注目が集まり、町民皆さんの暮らしに直結する重要な決定がなされました。

これからも町民の皆さんのために、誠意と情熱をもつて取り組み、未来への希望を築いて参ります。

議員としては1年が経過し、まだ初の経験もあり戸惑いもありましたが、反省点を踏まえ、次回以降はより積極的な意見を述べ、議会の活性化に努める所存です。

更なる飛躍を誓います。

(西本 久雄)



春を告げる桜

次の定例会は6月です

- 発行・編集責任者 議長 渡邊正俊
- 広報委員会
- 委員長 西内玄太
 - 副委員長 西本久雄
 - 委員 遠藤 浩
 - 委員 北郷伯弘
 - 委員 高木光雄